

著書名：脳性まひの療育と理学療法

上田法およびボツリヌス療法による筋緊張のコントロールと評価

著者：東條恵

発行所：（株）診断と治療社 2015年1月5日 初版第1刷発行

定価：本体2,600円＋税

☆著者の東條恵先生は、新潟県はまぐみ小児療育センターの所長で、小児科医師です。

氏は現在、上田法治療研究会の副会長・理事の要職をも務められています。

また、平成元年以来26年余りの長きにわたり先生ご自身が
上田法治療を実践してこられました。

これまでも幾多の学会等で上田法に関するご発表をされ、

多くの学術論文をも記述（リハビリテーション医学、脳と発達、他）されています。

今回の本は、上田法に関して長年にわたる先生のご尽力の総集編とも言うべきものです。

脳性まひの療育と理学療法

上田法およびボツリヌス療法による筋緊張のコントロールと評価

著者 **東條 恵** 新潟県はまぐみ小児療育センター 所長



ISBN:978-4-7878-2131-7
2色/並製/B5判/88ページ
定価 2,808 円 (本体 2,600 円 + 税)

 診断と治療社

- 1988 年に上田正先生が発表した「**上田法治療**」を長年施術し検討を続けてきた著者による、**脳性まひ・痙直型まひの療育記録**。
- 上田法施行または未施行の脳性まひにおける**長期間かつ継続的な検討結果**を多数紹介。**脳性まひの問題点**に迫る。
- 上田法の**具体的施術方法と治療効果**を、他理学療法や**ボツリヌス療法と比較**し紹介。
- **整形外科医と小児神経科医、そして理学療法士と作業療法士**におすすめする一冊！

目次

第1章 脳性まひの(リ)ハビリテーション治療—日本における流れ/第2章 上田法の登場と普及/第3章 上田法治療手技と効果や利点・強み/第4章 筋緊張の評価としてのfastとslow stretch spasms-angle計測/第5章 上田法治療の経験/第6章 脳性まひや健康人における筋緊張の定量的評価の試み/第7章 SLR, HAM, ABD, S-O, DKE, DKF spasms-angle 値の意味や限界/第8章 痙縮, 機能的拘縮, 器質的拘縮/第9章 上田法治療で, 脳性まひのfast stretch やslow stretch によるspasms-angle 値, 症状はいかに変化したか?/第10章 ボツリヌス療法で脳性まひのspasms-angle 値や症状はどう変化したか?/第11章 痙縮の減少が得られた後にプラスする療育は何か?/column「ちょっと一言一休み」①~⑧